

事業番号	3810602
------	---------

令和6年度（柏市）2年目研修 実施要項

1 目的

教育公務員特例法第21条第2項の規定、並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律第59条の規定により、柏市人材育成指標に基づき、柏市の年次研修の一環として、教職2年目となる教諭に対して実践的指導力と使命感の育成及び向上を図るとともに、幅広い知見を得させることを目的とする。また、個々が持つ課題の解決を図る。

2 対象

- (1) 柏市立小中学校に勤務する教諭のうち、原則として採用2年目の教諭とする。
- (2) 養護教諭及び養護助教諭、学校栄養職員及び栄養教諭、市立高等学校の教諭については、千葉県教育委員会に依頼し実施する。

3 研修内容

(1) 校内研修（30時間以上）

自己の課題意識に基づき、各自で計画する自主的・自発的な研修

(2) 全体集合研修（1回）

柏市教育委員会が主体となって計画された研修

※その他に、夏季特別研修では指定講座を受講する。

(3) 授業実践研修（2回）

① 教科授業の展開（校内）

② 他校種交流研修

4 全体集合研修及び授業実践研修年間計画

回	実施日	実施時刻	指標	主題・内容	講師	会場
1	5/23(木)	13:00~ 13:10	A1 (0.5)	講話「2年目の飛躍」	教育研究所長	さわやか ちば県民 プラザ 大研修室
		13:10~ 14:30 (~14:45)	B5 (1.0) B6 (0.5)	講義・演習 「学習指導と教科書」 (※リフレクション・連絡)	教育研究所	
		14:45~ 16:15 (~16:30)	D14 (1.5)	講義・演習 「2年目研修の進め方と1年間の展望」 (※リフレクション・連絡)	教育研究所	
夏季 特別 研修	7/31(水)	14:00~ 16:00	A4 (1.0) C9 (1.0)	夏季研修講座「性別違和や性指向・性自認に係る児童生徒への対応について」	未定	アミュゼ柏 クリスタル ホール
授1	5月~ 1月	-	B5 (1.5) B6 (1.5)	授業実践研修① 「教科授業の展開（校内）」	自校の中堅教諭等	自校
授2	6月~ 1月	-	C7 (1.5) D13 (1.5)	授業実践研修② 「他校種交流」	体験先教諭・管理職等	市内各校 ・各園

※講師や講師の所属等は変更の可能性があります。

5 実施方法

(1) 校内研修（30時間以上）

①研修計画の作成

(i) 研修対象者は、自己の課題解決に向けて、以下のア～カの研修項目から選択して研修計画を立てる。

ア 自己の課題解決のための協議、先行事例・本等の文献閲読、NITS の研修動画視聴

イ 授業展開に向けての教材研究、指導案作成（「授業実践研修」に関するものを含めてもよい）

ウ 校内授業研究会等における授業実践（「授業実践研修」以外のもの）

エ 校内、近隣校の授業参観（教科専門指導員等の授業参観を含む）

オ 県・市実施の希望研修等（追加で受講した夏季特別研修、自然体験プログラム等含む）

カ その他（地域や近隣校園での交流事業、大学や他市の公開講座等に参加等）

※1 研修内容に「千教研・MMG の参観・AED 研修会・夏季研修⑥(LGBTQ)」は含まれない。

※2 校務分掌による出張は不可。

※3 自己の課題解決に関連しない校内研修や若手研修は含まない。

※4 研修時間は、学校の実情に応じて「週時程に位置づける」「適時実施する」「両方を併用する」等から設定する。

(ii) 研修対象者は、(i)について「研修計画書」記入例を参照し、「研修計画書（2年目研_様式1）」を作成する。

(iii) 計画書を作成後、校長の指導・承認を受け、研修履歴システム2年目研_「研修計画書」フォルダに課題提出を行う。

【提出期限 5月24日（金）～6月14日（金）】

※第1回集合研修にて、計画作成についての詳細を確認してから提出すること。

②研修の実施

作成した計画書に沿って実施する。

計画を変更した場合は③の報告書で報告する。

③研修の報告

(i) 実施した内容について、「研修報告書（2年目研_様式5）」を作成する。

(ii) 報告書の作成後、校長の指導・承認を受け、研修履歴システム2年目研_「研修報告書」フォルダに課題提出を行う。

【提出期限 2月6日（木）～2月28日（金）】

(2) 全体集合研修（1回）（「全体集合研修及び授業実践研修年間計画」参照）

(i) 受付時間

研修開始 30 分前～10 分前まで

(ii) 持ち物

授業で使用している教科書 1 冊（教科は問わない。教科書の効果的な活用について協議を行うので、担当学年でよく活用している教科のものを持参する。）

名札（学校で使用しているもの）、要項（研修履歴システムよりダウンロード）、筆記用具、記録用ノート、バインダー、その他指定されたもの

(3) 授業実践研修（2回）

① 「教科授業の展開（校内）」

＜ねらい＞

単元でつけたい力を明確にした単元計画を作成し、実践と振り返りを通して、自身で授業改善の視点を見いだす。

自校において、上記ねらいのもと、中堅研教員の参加による教科（※道徳不可）の研究授業を実施し、管理職または校内の中堅研教員等を助言者として、協議会を行う。協議会や授業実践については、校内研修（30 時間）に位置づけないこと。

(i) 実施の流れ

	2 年目研修	中堅教諭等資質向上研修 I
位置付け	2 年目研修 授業実践研修	ミドルリーダー研修
目的	自校の中堅研 I 受講者に指導・助言をもらい成果と課題を共有するとともに、課題解決を図る。	若手への指導・助言を通してミドルリーダーとしての資質能力の向上を図る。
実施方法	①指導案検討時に助言・指導をしてもらう ②授業展開 ③授業後協議会 ④教育課題の共有	①指導案検討における助言・指導 ②授業参観 ③授業後協議会の助言 ④教育課題への助言・指導
実施時期	5 月～1 月	

実施例

①	中堅研 I 受講者がいない場合	例 1) 中堅研 I 受講者に近い経験者が指導助言を行う。 例 2) 校長が推薦した教諭が指導助言を行う。
②	2 年目研修受講者が複数の場合	例 1) 中堅研 I 受講者が全ての 2 年目に指導助言を行う。【複数回】 例 2) 2 年目が複数で中堅研 I 受講者が 1 名の場合、校長が推薦した教諭とチームを作って指導助言を行う。

(ii) 実施後の報告

実施後、下記のとおり報告書を提出する。【最終締切 2月14日（金）】

2年目研_ 様式2	授業実践研修① 「教科授業の展開（校内）」報告書	実施後 2週間 以内	研修履歴システム 2年目研_「授業の展開（校内）」フォルダ
--------------	-----------------------------	------------------	----------------------------------

②他校種交流研修（1回）

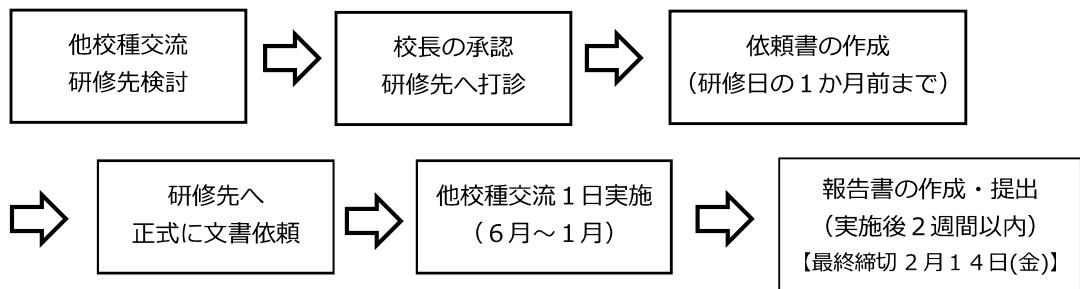
<ねらい>

発達段階に応じた指導について学び、幼保こ小接続、小中接続、中高接続について理解を深める。

小学校 → 近隣の幼稚園・保育園・こども園 もしくは 近隣の中学校、特別支援学校等での参観・体験(1日)

中学校 → 近隣の小学校 もしくは 近隣の高等学校、特別支援学校等での参観・体験(1日)

（ i ）研修実施の流れ



（ ii ）提出様式

ア 「他校種交流研修」実施依頼書（2年目研_様式3）

研修日の1ヶ月前までに研修先の校長または園長へ提出する。

イ 「他校種交流研修」振り返り（2年目研_様式4）

校長の指導を受け、研修終了後2週間以内に研修履歴システム2年目研修_「他校種交流研修」フォルダに課題提出を行う。

（ iii ）留意点

ア 研修対象者は自校の校長の指導を受け、研修先の選定や依頼を計画的に行うこと。

イ 近隣での研修先の選定や依頼が困難な場合、早めに研修担当へ連絡すること。

ウ 研修先の学校・園とは打ち合わせを十分に行い、迷惑や失礼がないよう心がけること。また、研修後の挨拶やお礼を忘れないこと。

6 提出書類様式一覧

様式 NO.	名称	提出期限	作成者	提出方法
2年目研_様式 1	2年目研修 研修計画書	5月24日（金）～ 6月14日（金） ※第1回研修で確認 してから提出	受講者	研修履歴システム 2年目研 「研修計画書」 フォルダ
2年目研_様式 2	授業実践研修① 「教科授業の展開(校内)」報告書	実施後2週間以内 【最終締切 2月14日（金）】		研修履歴システム 2年目研 「授業の展開(校内)」 フォルダ
2年目研_様式 3	授業実践研修② 「他校種交流研修」 実施依頼書	実施日1か月前まで		研修先所属長 宛
2年目研_様式 4	授業実践研修② 「他校種交流研修」振り返り	実施後2週間以内 【最終締切 2月14日（金）】		研修履歴システム 2年目研 「他校種交流研修」 フォルダ
2年目研_様式 5	2年目研修 研修報告書	2月6日（木）～ 2月28日（金）		研修履歴システム 2年目研 「研修報告書」 フォルダ

※ 各種様式は、研修履歴システムよりダウンロードする。

担当 教育研究所

電話 04-7191-7387

令和6年度 2年目研修 研修計画書

学校名 柏市立

学年・教科

研修者氏名

1. 今年度の自己の課題解決の方向性

※ 柏市教職員人材育成指標（ステージ1）を確認後、記載すること

2. 全体集合研修

回	予定月	主な内容
1	5月23日	集合研修

3. 授業実践研修

回	予定月	主な内容
授1		授業実践研修①「教科授業の展開（校内）」 ※道徳不可 (学年・教科・単元名)
授2		授業実践研修②「他校種交流研修」 (○○ 学校・園)

4. 校内研修

回	予定月	指標	指標	指標	研修項目	研修内容(自己の課題解決に沿った内容のもの)	時数
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
						計	0

《研修項目について》

- ア 自己の課題解決のための協議、先行事例・本等の文献閲読、NITSの研修動画視聴
 イ 授業展開に向けての教材研究、指導案作成（「3.授業実践研修」に関することを含めてよい）
 ウ 校内授業研究会等における授業実践（「3.授業実践研修」以外のもの）
 エ 校内、近隣校の授業参観（教科専門指導員等の授業参観を含む）
 オ 県・市実施の希望研修等（追加で受講した夏季特別研修、自然体験プログラム等も含む）
 カ その他（地域や近隣校園での交流事業・大学や他市の公開講座等に参加等）
 ※1 研修内容に「千教研・MMGの参観・AED研修会・夏季研修⑤(LGBTQ)」は含まない。
 ※2 校務分掌による出張は不可。
 ※3 自己の課題解決に関連しない校内研修や若手研修は含まない。

※必ず**管理職の確認を受けてから**提出すること。

記入例

令和6年度 2年目研修 研修計画書

学校名	柏市立 大津ヶ丘第三小学校
学年・教科	4年
研修者氏名	沼南 一郎

1. 今年度の自己の課題解決の方向性

※ 柏市教職員人材育成指標（ステージ1）を確認後、記載すること

(例) 「教科等についての専門性」の向上を目指し、ICTを活用した授業を展開し、児童生徒の主体性を引き出せるよう授業改善に努める。

2. 全体集合研修

回	予定月	主な内容
1	5月23日	集合研修

3. 授業実践研修

回	予定月	主な内容
授1	6月	授業実践研修①「教科授業の展開（校内）」 ※道徳不可
授2	10月	授業実践研修②「他校種交流研修」

4. 校内研修

柏市教職員人材育成指標

回	予定月	指標	指標	指標	研修項目	研修内容(自己の課題解決に沿った内容のもの)	時数
1	5月	B5	B6		イ	校内授業研究会 指導案作成	2
2	5月	B6			イ	研究主任より指導 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善	1
3	6月	B5	B6	D14	ウ	校内授業研究会 参観・協議会 2年 算数	3
4	7月	B5			ア	「教科等についての専門性」について 文献にて研修	1
5	7月	B6	D13		ア	校内若手研修 「学校図書館活用についての情報共有」	2
6	8月	A4	B6	E15	オ	夏季研修講座 動画視聴 「1人1台端末環境での子供の学びと教師の役割」	2
7	10月	B5	B6	D14	ウ	校内授業研究会 授業展開・協議会 5年2組 国語「意見文を書こう」	2
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14						※1, ※2, ※3の含まれない内容が入らないよう留意する。	
15							
						計	年間30時間以上
							30

《研修項目について》

ア 自己の課題解決のための協議、先行事例・本等の文献閲読、NITSの研修動画視聴

イ 授業展開に向けての教材研究、指導案作成（「3.授業実践研修」に関することを含めてもよい）

ウ 校内授業研究会等における授業実践（「3.授業実践研修」以外のもの）

エ 校内、近隣校の授業参観（教科専門指導員等の授業参観を含む）

オ 県・市実施の希望研修等（追加で受講した夏季特別研修、自然体験プログラム等も含む）

カ その他（地域や近隣校園での交流事業・大学や他市の公開講座等に参加等）

※1 研修内容に「千教研・MMGの参観・AED研修会・夏季研修⑤(LGBTQ)」は含まない。

※2 校務分掌による出張は不可。

※3 自己の課題解決に関連しない校内研修や若手研修は含まない。

※必ず管理職の確認を受けてから提出すること。

令和6年度 2年目研修 授業実践研修①

「教科授業の展開（校内）」報告書

学校名 柏市立

学年・教科

研修者氏名

授業展開日時	授業展開	協議
	~	~
主な内容	单元（題材）名	
	単元目標 (単元でつけたい力)	

1. 指導案検討を通して単元構想時に考えたことや工夫したことについて

(例：単元における本時の位置づけ、関連する単元・教科・系統、子供の実態に応じた手立て等)

2. 授業実践を終えて考えたことについて

(例：実践中の子供の様子や変容、本時や単元でつけたい力に迫られているか等)

3. 協議や指導を通して考えたことについて

(例：新たな視点や学び、今後どのような実践をしていくか等)

指導・助言を受けた先生 中堅研Ⅰ受講者 氏名 :

その他教諭 氏名 :

※必ず管理職の確認を受けてから、授業終了後2週間以内に提出すること。

令和 年 月 日

(研修依頼先の長) 様

柏市立 学校
校長

令和〇〇年度 小・中学校2年目研修「他校種交流研修」の実施について（依頼）

のことについて、下記のとおり研修をさせていただきたいので、お取り計らいくださいますようよろしくお願い申し上げます。

記

1 主 催 柏市教育委員会 教育研究所
研修担当 電話04-7191-7387

2 研修日 令和〇〇年 〇月 〇日 (〇)

3 研修者 職・氏名 教諭 〇〇〇〇

4 備 考 (必要に応じて研修者の所属学年、教科等を書く)

2年目研修 授業実践研修②

「他校種交流研修」振り返り

学校名 柏市立

学年・教科

研修者氏名

研修日	
研修先	

1. 自校の児童生徒と、研修先の幼児児童生徒の発達段階の比較をもとに、教育活動においてどのような共通点や違いを捉えましたか。

2. 地域の実態について、どのような共通点や違いを捉えましたか。

3. 研修先の幼児児童生徒の発達段階や地域の実態を捉えたうえで、今後の幼保こ小連携や小中連携、中高連携についてどのように学びを活かし実践していきますか。

※必ず管理職の確認を受けてから、研修終了後2週間以内に提出すること。

令和6年度 2年目研修 研修報告書

学校名 柏市立

学年・教科

研修者氏名

1. 今年度の自己の課題解決の方向性

※「様式1_研修計画書」に記載したこと

2. 全体集合研修

回	月日	主な内容
1	5月23日	集合研修

3. 授業実践研修

回	月日	主な内容	
授1		授業実践研修①「教科授業の展開（校内）」 ※道徳不可	(学年・教科・単元名)
授2		授業実践研修②「他校種交流研修」	(○○ 学校・園)

4. 校内研修

回	月日	指標	指標	指標	研修項目	研修内容(自己の課題解決に沿った内容のもの)	時数
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
						計	0

5. 2年目研修を振り返って（「今年度の自己の課題解決の方向性」に対する自己評価）※必ず**管理職の確認を受けてから**提出すること。

記入例

令和6年度 2年目研修 研修報告書

学校名 柏市立 大津ヶ丘第八小学校
学年・教科 4年
研修者氏名 沼南 研究太郎

1. 今年度の自己の課題解決の方向性

(例) 「教科等についての専門性」の向上を目指し、ICTを活用した授業を展開し、児童生徒の主体性を引き出せるよう授業改善に努める。

2. 全体集合研修

回	月日	主な内容
1	5月23日	集合研修

「授業実践研修」での授業展開は
「4.校内研修」には含めない。

3. 授業実践研修

回	月日	主な内容
授1	6月6日	授業実践研修①「教科授業の展開（校内）」 ※道徳不可
授2	10月15日	授業実践研修②「他校種交流研修」

大津ヶ丘研究幼稚園

4. 校内研修

回	月日	指標	指標	指標	研修項目	研修内容(自己の課題解決に沿った内容のもの)	時数
1	5月14日	B5	B6		イ	校内授業研究会 指導案作成	2
2	5月27日	B6			イ	研究主任より指導 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善	1
3	6月3日	B5	B6	D14	ウ	校内授業研究会 参観・協議会 2年1組 算数「長さをはかってあらわそう」	3
4	6月19日	B5			ア	「教科等についての専門性」について 文献にて研修	1
5	7月30日	B6	D13		ア	校内若手研修 「学校図書館活用についての情報共有」	2
6	8月26日	A4	B6	E15	オ	夏季研修講座 動画視聴 「1人1台端末環境での子供の学びと教師の役割」	2
7	10月16日	B5	B6	D14	ウ	校内授業研究会 授業展開・協議会 5年2組 国語「意見文を書こう」	3
8						一行につき一回（一日分）のみ記載	
9							
10							
11						研修項目については「研修の手引」「研修計画書」を参照する。	
12							
13							
14							
15							
						計	30

年間30時間以上

5. 2年目研修を振り返って（「今年度の自己の課題解決の方向性」に対する自己評価）

*必ず管理職の確認を受けてから提出すること。